

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院・昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

AVM に対する塞栓術の有効性と安全性の検討

1．研究の対象および研究対象期間

2015 年 4 月から 2023 年 3 月に昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院 脳神経外科で放射線治療前の脳動静脈奇形に対する塞栓術を施行した患者さん

2．研究目的・方法

脳動静脈奇形に対する放射線治療前に行う塞栓術の効果は十分に解明されておりません。今回、過去の患者さんの個人情報を削除し符号化した治療データをもとに塞栓術が放射線治療に与える効果を研究することが目的です。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 9 月 1 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、破裂の有無、症候の有無、Speztler-Martin grade、セッション数、観察期間、塞栓術による合併症の有無、合併症の内容(脳梗塞、脳出血)、完全閉塞の有無、nidus 縮小の有無

5．外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用の ID を付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学藤が丘病院から昭和大学横浜市北部病院(提供先)へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院脳神経外科 氏名 阪本有

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 氏名：阪本有

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000(内線 5341)